

平成二十六年 度 学 力 検 査

A
国 語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

注 意

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **6** までで、六ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受検番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1 次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

- ① 収入と支出の均衡を保つ。
- ② 抑揚をつけて話す。
- ③ 厳かに卒業式が執り行われる。
- ④ 海外に留学して語学力を鍛える。
- ⑤ 春の公園をさんさくする。
- ⑥ 合唱曲をそうだんして決める。
- ⑦ 勝利をうたがう余地はない。
- ⑧ 小舟から釣糸をたらす。

2 別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十四点)

(一) 波線部分①～④の中には、品詞が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 傍線部分①「涙」の「へん」を行書で書いたものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。



(三) 傍線部分②「そう思えば思うほど、涙があふれて止まらない」とあるが、「そう思えば思うほど、涙があふれて止まらない」のはなぜか、その理由を「そう思えば思うほど」の「そう」が指し示す「わたし」の思いにふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

(四) 傍線部分③「ふっとおじいさんが笑ったのがわかった」とあるが、「わたし」が、おじいさんが笑ったことに気がついてから、おじいさんに対する「わたし」の印象はどのように変わったか、それが最もよくわかる部分を、本文中から十二字で抜き出して書きなさい。

(五) 傍線部分④「そういうことじゃあねえんだ」とあるが、おじいさんが「わたし」に伝えたかったのはどのようなことか、「そういうこと」の内容にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 波線部分①～④の中には、用法・はたらきが他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 傍線部分①「ゲンジボタルやヘイケボタルの幼虫は、清流では生息できない」とあるが、「清流では生息できない」のはなぜか、その理由を、ホタルの幼虫とカワニナとの関係にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

(三) 文中の に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、つまり イ、ところが ウ、ただし
エ、しかし

(四) 傍線部分②「それら」とあるが、「それら」の指し示す言葉を本文中から抜き出して書きなさい。

(五) この文章の内容に合うものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、ホタルの人工繁殖や放流を行ったり、川底のゴミや石までなくしたりすることが、ホタルの生息を維持するために必要な条件となる。
イ、「汚くなった川」を清流に改変することで、川に害虫や微生物が生息できなくなり、ホタルが生息するための適正な自然環境となる。
ウ、人間の美意識を自然界に持ち込んでホタルばかりを偏愛するのではなく、多種多様な動植物が存在する自然環境を維持すべきである。
エ、水が透き通った清流や、深山の水の冷たい溪流などは、種の多様性や生物の総量というものさしで計れば、非常に優秀な状態である。

4

次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(六點)

或人、清水へまゐりけるに、老いたる尼の行きつれたりけるが、道すがら「くさめくさめ」と言ひもて行きければ、「尼御前、

そんなにおっしゃるのですか

何事をかくはのたまふぞ」と問ひけれども、答へもせず、なほ言ひやまざりけるを、度々問はれて、うち腹たちて、「やや、鼻ひたる時、

こうしておまじないしなければ、死んでしまうものだと思すから

かくまじなはねは死ぬるなりと申せば、養ひ君の、比叡山に児にておはしますが、ただ今もや鼻ひ給はんと思へば、かく申すぞかし」と

めったにない殊勝な心がまえであつたことだ

④ 言ひけり。有り難き志なりけんかし。

(「徒然草」より)

- (注1) 清水——清水寺のこと。
- (注2) くさめくさめ——くしゃみが出たときのまじないの文句。
- (注3) 比叡山——延暦寺のこと。
- (注4) 児——勉学や行儀見習いのために寺に預けられている少年。

(一) 波線部分「まゐりける」を現代仮名遣いに改め、ひらがなで書きなさい。

(二) 二重傍線部分①～④の中には、主語が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(三) 本文の内容に合うものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、老いた尼は、比叡山ひえのやまにいる児ちごがくしゃみをすると自分が死んでしまうのではないかと思い、清水きよみずへの道すがら道連れになった
或人あるひとにおまじないを言ってもらった。

イ、或人は、清水への道すがら道連れになった老いた尼の話を聞いて、自分が育てた方で、比叡山にいる児を心配して「くさめくさめ」とおまじないを言った。

ウ、清水への道すがら「くさめくさめ」と言い続ける或人に対して、老いた尼は腹を立てて、「くさめくさめ」とおまじないを言い続ける理由を問い詰めた。

エ、くしゃみをしているときにおまじないをしないと死んでしまうと信じる尼は、乳母として育てた児が今にもくしゃみをするかと思い、おまじないを言っていた。

次の「チラシ」は、青空中学校の生徒会役員が、「あいさつ運動」の取り組みを全校生徒に理解してもらうために作成したものである。これについて、あとの各問いに答えなさい。(四点)

【チラシ】

青空中学校あいさつ運動

わたしたち青空中学校生徒会は、
「あいさつ運動」を実施します。



【 ① 】

- 5月12日(月)～5月16日(金)
- 7月7日(月)～7月11日(金)

【 ② 】

- 登校時に生徒会役員が正門前で、「あいさつ運動」を知らせるのぼり旗を持って、運動の呼びかけをします。
- 放送委員会と図書委員会に協力してもらい、お昼の放送で、あいさつに関する文章や詩を紹介します。

【 ③ 】

- 顔を見てあいさつをしましょう。
- 声が届くようにあいさつをしましょう。
- 気持ちを込めてあいさつをしましょう。

【「あいさつ運動」に期待すること】

わたしたち生徒会役員は、みなさんとともに青空中学校を元気にしていきたいと考えています。その出発点として「あいさつ運動」に取り組みます。

わたしたちは、ともに学校生活を送っていますが、みなさんは互いにあいさつを交わしているでしょうか。学校生活を送るうえで、あいさつを交わすことはとても大切です。

あいさつを交わすことには、いろいろなよさがあると考えています。たとえば、あいさつを交わすことによって、互いに親しみを持てるようになります。また、あいさつを交わすことで、気分がよくなったり、気持ちが伝わったりします。これらのことが、あいさつを交わすことのよさだと考えています。

わたしたち生徒会役員は、この「あいさつ運動」を出発点として、会話のしやすい雰囲気を青空中学校に広げることで、学校全体を元気にしていきたいと思えます。

(一) 【チラシ】の中の ① には、次のア、イ、ウ、エのどの見出しが当てはまるか、最も適当なものをそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ア、あいさつの仕方
イ、あいさつの意義
ウ、「あいさつ運動」の実施期間
エ、「あいさつ運動」の取り組み内容

(二) 【チラシ】の傍線部分「これらのことが、あいさつを交わすことのよさだと考えています」とあるが、青空中学校の生徒会役員が考える、「あいさつを交わすことのよさ」とはどのようなことか、「これら」の指し示す内容にふれて、【チラシ】の中の言葉を使って、三十五字以上四十五字以内でまとめて書きなさい。(句読点も一字に数える。)

6

「働くことの意義」について、あなたの考えや意見を、あとの〔注意〕にしたがって書きなさい。(六点)

〔注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの体験や見たり聞いたたりしたことを具体的に書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方にしたがって、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。